

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. **参加者:**スタッフ CL 山蔦、SL 山本、SL 仲島、千賀、西、服部、矢古宇、湊、入江 9 名
受講生 後藤、黒岩、山崎、竹内、村上 5 名
2. **山域/ルート:**鈴鹿 神崎川本流
3. **交通手段:**自家用車
4. **行動記録:**2022 年 6 月 4 日(土) -5 日(日)
6 月 4 日 5:00~5:30 頃各地出発→8:05-8:25 神崎橋そば駐車地 8:45→10:00 堰堤より入
溪→12:15 分ツメカリ谷出合 →14:00 白滝谷出合を過ぎた 580m地点 タープ・ツェルト泊
6 月 5 日 7:30 沢下降開始→8:40 558m 地点(ここから登山道・林道を利用)→11:00 神崎橋そば
駐車地
5. **山行中の問題点・事故に繋がる要因**
 - a) 予定のルート・日程で行動出来たか？
できた。
 - b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？
なし。
 - c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？
した。
6. **その他、ルートに関する情報・感想など**
全体に砂で埋まっていた。

【山蔦】

人数が多かったため、先頭に山本さん、真ん中に仲島くん、ラストに私を配置。あとはスタッフと受講生をペアとして行動すると事前打ち合わせの通りに行動でき、リスクをコントロール出来たのは良かった。事前の打ち合わせをしっかりと守るのは大切ですね。クライマックスのはずの長瀬をはじめ、沢を通して砂に埋まってしまっていたのは残念だがこれも自然の一部で仕方ない。夜の焚き火は盛大に行えたが途中から前後不覚に陥ってしまい記憶が無いのは残念無念。パンパンにむくんだ顔と焚き火の写真が惨状を物語っています。下山しんどかったです。ご迷惑をおかけした皆さんにはお詫びしておきます。受講生の皆さん、沢の世界によろこそ！ これからも全力で沢の全てを楽しむことを誓います。

【湊さん】

皆さん、RC 教室お疲れさまでした。

天候にも恵まれ、泊沢の楽しさを十分満喫できたのではないのでしょうか。

大きな岩を乗り越えたり、滝を高巻いたり。特に神崎川は泳ぎの沢で、着衣水泳を堪能できました。

泊り沢の醍醐味は、なんといっても焚火でしょう。このために泊り沢に行っているような気もします。

今回は、ちょっとはじけすぎたので、そこは反省しましょう。

またご一緒してください。

以下、受講生からの感想です。

【竹内さん】

初めの沢泊体験、緊張しましたが無事終わることが出来ました。ありがとうございました。滑って流されたり石をリズム良く踏めなかったり課題も多かったですが焚火も体験出来て良かったです！

【村上さん】

3回目の沢で遡行にも少しずつ慣れてきました。教室に入ってから初めての沢登りを経験し、今回の修了山行ではツェルトでの沢泊まりも体験でき大変充実した教室を受講できました。

スタッフの皆様ありがとうございました！

万全なサポートのおかげで安心して教室を受講することができました。

スタッフの皆様を目標に沢経験を積んでいきたいと思います。

【後藤さん】

わたしが沢に行きたいと思ったきっかけは焚き火です。最終遡行で焚き火メシができること、本当に楽しみにしていました。

食事を受講生に任せられ、いろいろ大変なこともありましたがそれも含めていい経験となりました。

神崎川の碧色の水にいやされ、時折激しい流れに驚き、

高巻き、歩荷、等 初めてのことでばかりで 学ぶことが多かった沢。きっとこれからも忘れないでしょう。

スタッフのみなさま、受講生諸君、ありがとうございました。またどこかの沢で。

【黒岩さん】

蓬山峡、音水峡での教室を経て、今回は神崎川に行きました。

川の水量が蓬山峡や音水峡と格段に違い、山行開始当初、カナヅチの私は恐怖を感じましたが、一日目の後半頃にはダウンジャケットとザックで嫌でも体が浮くことがわかり怖さが軽減されました。ぷか〜と浮くのが楽しかったです。まだ水の流れがあるところでは、自分の進む方向を制御できないのではないかとという怖さがありますが、今回の教室で初めて沢を泳ぐという経験が出来て良かったです(犬かきですが)。最初は人がたくさん来ないような所で自然を満喫したい、山で焚き火をしてみたいという安易な動機で教室に参加しましたが、沢の岩の上をバランス良く歩いたり、滝を懸垂下降で降りたり、自分の技術でも歩ける道を探したり等々、山の技術を習得する上でとても勉強になりました。スタッフの皆様、受講生の方々、山行中も山行外でも大変お世話になり、ありがとうございました。今回学んだことを次の夏山教室で必ず活かしたいです。

【山崎さん】

回目にして初めての泊まり&泳ぎがたくさん沢！美しい景色と心地よい沢音、身も心もほぐされる焚火、予想以上に快適なツェルトの寝心地などなど、全部がとっても楽しかったです。

ただ、ザックの中のビニール袋の口を縛り忘れて荷物を一部水没させたり、ザックもライフジャケットもなしで飛び込んで予想以上に深く潜ってしまったり、髪を乾かさずに寝たせいで生乾きの頭が痒くて起きたり…失敗がたくさんでした。そのあたりの反省点に加え、沢流の焚火のお作法や、水量の多いところのすり足歩行、ツェルトの張り方など、今回も学びの多い充実した遡行でした。早くも次の沢で実践したいことが山積みで、楽しみです。

沢登りというディープで魅力的溢れるこの世界に導いてくださったスタッフのみなさま、改めてありがとうございました！下山後にグランピング施設を目にした時「あれもいいなあ」なんて1ミリも思えなかった自分に驚きました。一緒に足を踏み出してくださった同期のみなさま、私1人じゃなく心強かったです、ありがとうございました！





2022年6月6日 報告者氏名 山蔦